



生みの親といっしょに  
よりよい育ての親に

わたしを ぎゅっとして  
わたしを 見つめて  
わたしを 聞いて  
わたしを 呼んで

### 〔新たな日常(New Normal)を問う〕

#### ～ケア コミュニケーション(Care Communication)とは何か?～

私たち(社福)童心会の保育(人間教育)の目標は「思いやりと生きる力」です。  
 50年位前に茨城県で筑子保育園の園長をしていた時にひらめき、思いついた言葉です。  
 柏市にきて意味を紐解くと、「思いやり」は慈悲と言われ「生きる力」は智慧と言われているというのです。  
 即ち、慈悲とは「全ての物の悲しみや苦しみに寄り添う心」であり、  
 智慧とは「実人生を生き抜く力」であると仏教哲学では言われているそうです。  
 そして私たちの保育(人間教育)の方針は次のようになりました。

- わたしを ぎゅっとして (身体的・情愛的接触)
- わたしを 見つめて (応答関係・愛着形成)
- わたしを 聞いて (応答関係・愛着形成)
- わたしを 呼んで (応答関係・愛着形成)

今日読ませて頂いた柏ECEC保育園の卒園遠足の報告では  
 今年一年間の園外保育活動でお弁当が食べられたのは一日だけだったというお話しでした。  
 たった一日だけではご家族、お友達、保育者仲間たちと助けあって生きている喜び  
 を感じあうことは出来ません。

私たちが求める(社福)童心会の”ヒト創り”は人間教育(生涯学習・生涯教育)につながり、  
**愛された育ち(子どもの権利)とだきしめ言葉(養育者の義務)**によって  
 社会的共同養育を高めていくことなのです。  
 そして心がきずつかない、心がこわれない”ヒトを創る”ことなのです。  
 そしてまた、養育者との生活・社会での人間関係を繰り返しながら安全で平和な暮らし方とを身につけ  
 自立した実人生を生き抜く力を身につけていくことが出来るかが問われているのです。  
 だから私たちの考える”人の成り立ち”は次のようになりました。



笑ったかす一番    だっこされたかす一番    やさしくされたかす一番  
 遊んだかす一番    でかけたかす一番    チャレンジしたかす一番

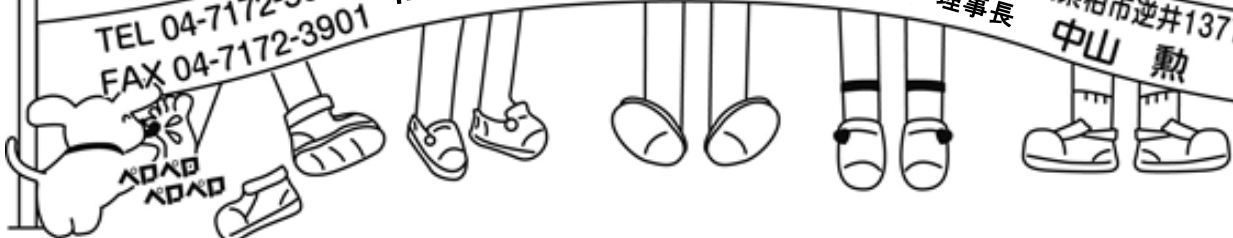


E-mail [doushinkai@doushinkai.jp](mailto:doushinkai@doushinkai.jp)    URL <http://doushinkai.jp>

TEL 04-7172-3939  
 FAX 04-7172-3901

社会福祉法人 童心会

〒277-0042 千葉県柏市逆井1377番地1  
 理事長 中山 勲



## 〔ヒトの成り立ち〕

ひとりで できる  
みんなと できる  
人のために できる  
助けあって できる

ひとりで できた  
みんなと できた  
人のために できた  
助けあって できた

ひとりで 生きる  
みんなと 生きる  
人のために 生きる  
助けあって 生きる

いつの頃からでしょうか？考えてみれば数え切れないほどのずっとずっと昔から、子育ての歴史はご近所の人たちとの共同養育のおかげさまで子守り、子育ての仕方が受けつながら、子育て文化としてそれぞれの地域に代々根付いてきたものだったはずなのです。

しかし現在のような時代の中にあっても、日本の保育界は「養護と教育」をまだ唱っています。今この世界にいる私たち(社福)童心会に本当に求められているものは次のようなものになりました。

- ①共同養育 (社会的共同養育)
- ②学ぶ心 (人間教育・生涯学習・生涯教育)
- ③Care work (メンタルヘルス・ケア・社会的インクルージョン)

まずこれからの時代、アフターコロナと言われる時代は(社福)童心会の保育園全体が「社会的共同養育の場」になることを誓います。  
愛された育ち、だきしめ言葉は生きる力(智慧)につながり、実人生を生きぬく力になるはずです。  
だから「生きる基盤」は次のようになります。

- 1. がんばること (身体の色を育むこと)
- 2. つづけること (学ぶ力を身につけること)
- 3. がまんすること (心の力を強くすること)

を育てながらやる気(意欲)、げん気(気力)、ほん気(意志)を育てています。

そしてまた「生きる姿勢」は次のような生き方名人になることを目指します。

- 1. 笑顔名人
- 2. 挨拶名人
- 3. 思いやり名人
- 4. ありがとう名人

私たちは今日まで共同養育の子育て文化や子育ての歴史が崩壊し、核家族化や専業主婦の子育てや三歳児神話の事例などから育児不安、子育てのイライラ感、体罰、虐待など“不適切な養育”の実状などもたくさん見てきました。

今、このような時代に新たな日常(New Normal)という言葉が生まれました。  
それは、このコロナウィルスと闘うための新たな日常生活に対する心得なのです。  
その中で私はケア コミュニケーション(Care Communication)という言葉もを見つけました。  
いたわりを込めた、ねぎらいを込めた、思いやりを込めた  
ウィズコロナの時代だから、人が苦しんでいる時代だからこそ  
改めて”助けあって生きる”を合言葉にしたいという願いから生まれた言葉なのでしょう。

改めて今、保育は変わらなければなりません。母親だけが育児をするのではなく、イクメンの父親が育児に参加するだけでもなくて保育所が今「社会的共同養育の場」になったのです。  
だからもう一人では苦しまないで下さい。

(社福)童心会で子どもたちと一緒に保育者仲間たちと保護者の皆さまも一緒に  
生きている喜びを分かち合いながら、一日一生を歩んでいきましょう。

今年の一年も一緒に生活や子どもの成長を見守り、楽しみながら過ごしていけたらと願っております。  
どうぞよろしく願いいたします。

令和3年4月吉日  
社会福祉法人 童心会  
理事長 中山 勲

※ 童心会だよりはホームページ上でご覧になれます。  
理事長の部屋【<http://doushinkai.jp/message/>】